

DAY

新企画&現場で役立つ
レク情報など満載!

〔特集1〕

効果UP! 効率UP! 小集団トレーニング の工夫

〔特集2〕
ご家族・ご利用者から聞こえてきた
不満・不安への対応



〔特別企画〕

心を癒やす・ 和を楽しむクラフト

別売
7月号
お役立ち
ツールCD
定価600円
(+税、送料別)発売中

全国の現場から/ 施設紹介



特徴ある施設を
ご紹介します!

デイサービス

社会福祉法人あさがお福祉会
つだまちキッチン

ユニバーサルカフェと 放課後デイ併設の 地域に開かれた デイサービス

地域のニーズでユニバーサルカフェを併設

つだまちキッチンは社会福祉法人あさがお福祉会(以下、あさがお福祉会)が平成27年に開設したお料理デイサービスです。スーパーが閉鎖して空き店舗になっていた場所をあさがお福祉会が購入し、つだまちキッチンを開設しました。

近隣に介護事業所がなかったことから、小規模デイサービス、配食サービス、訪問介護、居宅介護支援事業を始める予定でしたが、地域へのヒアリングで「ス

パーが閉鎖し、買い物に困っている」「地域住民が気軽に集まれる場所がほしい」「子育て中のママへの支援がほしい」「障がい者支援も必要」などの声を聞き、「放課後等デイサービス」「ユニバーサルカフェ」を併設するデイサービスとしてオープンし、社会福祉法人として地域に貢献するため「子育て支援事業」「地域交流事業」なども行っています。



つだまちキッチンの玄関。お話を伺った代表の保岡さん(左)と管理者の田中さん(右)

デイサービスご利用者も利用できるユニバーサルカフェ

ユニバーサルカフェは授乳室やキッズスペースを備え、地域の方が入りやすいカフェスタイルにしています。赤ちゃんを連れた母親や地域の高齢者など、多世代が雑誌を読んだりランチを食べる場所となっています。ランチは、管理栄養士が栄養バランスを考えた日替わりメニュー2種をワンコイン(500円)で販売しています。同じメニューで販売するお弁当(20食限定)は近隣のサラリーマンにも好評で、ほぼ毎日完売します。ご利用者もコーヒーを買ってデイサービスに戻ったり、カフェに来た子どもに声を掛けたりしています。



カフェの親子連れに声を掛けるご利用者

デイサービス、放課後等デイサービス、ユニバーサルカフェの同一建屋での提供は前例がなく、申請に時間がかかりましたが、各基準に則った上で、これらのサービスの必要性について理論立てて説明を行いました。「つだまちキッチン」の名称も最初は市役所で「何の施設かわからにくい」と指摘されましたが、「こうした名称や環境の方が気軽に子どもの療育相談や介護の相談のために立ち寄りやすいでしょう」と代表の保岡さんが伝え、許可を得ました。



500円で提供している日替わりランチ。同じメニューで販売しているお弁当は、地域の人や近隣で働くサラリーマンにも好評

つだまちキッチンフロア図

ご利用者もデイから玄関を通ってユニバーサルカフェを抜け、販売コーナーへ行ける。
お金を持ってコーヒーを買いに行くなど、日常生活に近い空間となっている。

地域交流多目的スペース

キッズスペース・授乳室完備のユニバーサルカフェ。購入した料理・飲み物の飲食ができる。



カフェ・パン・総菜販売コーナー

お弁当・コーヒー・パンなどの販売スペース

デイルーム調理スペース

料理の機能訓練や地域イベントを開催



デイサービスの玄関

デイサービスにもユニバーサルカフェにも通じる



足湯・ヘッドスパコーナー

放課後等デイサービスもここで行う。



障害のある人や子育て中の主婦などの雇用にも積極的に取り組む

春休みや夏休みなどの長期休暇には職員の子どもたちが訪れ、デイサービスのテーブルで宿題をしたり、カフェの下膳を手伝ったりします。保岡さんは「介護やサービス業は人手不足ですが、できること、できないことを補い合えば、けっこう働ける人は多いと思います」と言います。

そうした思いから障がい者やシングルマザーの雇用にも積極的に取り組み、近所に障がい者向けのグループ



フットケア中のご利用者のそばで、宿題をしている職員の子どもたち



介護職兼指導員として活躍する発達障害のあるスタッフ

料理も機能訓練として作業療法士が評価

職員は介護、療育、カフェとさまざまな仕事をこなさなければなりませんが、「困っている人を総合的にサポートできるから、つだまちキッチンで働きたい」という作業療法士(以下、OT)や看護師などが集まるため、スタッフ22名(カフェ・放課後デイサービスも含む)の内、OT 1名、看護師兼機能訓練指導員4名、保育士兼指導員5名と人材に恵まれています。

専門職が多いことを生かして料理療法(湯川夏子氏提唱)を機能訓練として取り入れ、定期的にOTが評価を行っています。「利用開始時は5分間でジャガイモの皮を1個しかむけなかった人が、3ヶ月後に3個むけるようになった」など、誰にでもわかりやすい評価を心掛けられています。



ホワイトボードに手順を記載。OTが調理動作を評価

地域交流拠点としてのデイサービス

ふだんは機能訓練として料理をする調理スペースは、地域の人との交流スペースでもあります。毎月、地域支援イベントとしてさまざまなイベントを行っており、デイサービスのご利用者も参加しています。

交流スペースにはデイルームを通じて入るため、赤ちゃんや子どもたちと触れ合ったり、近所の方がついでに話をしていくので「ふだんは無表情なご利用者も子どもたちが遊んでいるを見ると、表情が和らぎます」と管理者の田中さんは言います。



10kg近い赤ちゃんを抱っこするのは楽しい機能訓練

地域支援イベントの一例

地域交流(毎月1回)

- ・味噌作り講座
- ・あかじそレシピ講座
- ・すだちポン酢作り講座
- ・すだちレシピ講座 ほか

子育て支援(毎月1~2回)

- ・子育ておやつ教室
- ・うたとピアノのわくわくコンサート
- ・つだまちプールで水遊び ほか

その他

- ・シニアが教えるパソコン教室
- ・ゼロ円食堂(毎月1回)



地域交流イベント「味噌作り」に参加するご利用者。調理中は思わず立ち上がるなど活動量が増える

地域とのつながりを強めることが経営安定につながる

今後の展望について、代表の保岡さんは、「ユニバーサルカフェと配食事業は順調に売り上げが伸びているので、これらの利益はすべて地域に役立つサービスに還元したいと思っています。地域と密接なかかわりを築き、信頼を得ることで、今後、大手企業が介護事業などの福祉産業に参入しても対抗することができます。そういう意味でも地域貢献に力を入れていきたいと思っています」と話されました。

算定加算

◎個別機能訓練加算Ⅰ・Ⅱ

◎運動器機能向上加算

事業所概要

社会福祉法人あさがお福祉会 デイサービス

つだまちキッチン

徳島県徳島市津田本町
2丁目3番地の57

TEL:088-635-1295

FAX:088-635-1301

- ◎開設年月日/平成27年5月1日
- ◎営業日/・高齢者デイ:月～土曜日(祝は営業)
・放課後等デイ・ユニバーサルカフェ:
月～金曜日(祝は営業)
- ◎営業時間/・高齢者デイ・放課後等デイ:8:00～18:00
・ユニバーサルカフェ:10:00～14:00
- ◎定員/25名
- ◎一日平均利用者数/23名
- ◎平均介護度/要介護1

職員配置	常勤	非常勤
管理栄養士	1	—
看護師 (機能訓練指導員兼務)	2	2
生活相談員	2	—
作業療法士	1	—
歯科衛生士	—	2
介護福祉士	1	2
運転手	—	5